



医療法人としわ会

介護老人保健施設アーチスト

(名古屋市北区)

利用者さまへ細やかな取り組みで、確実なリハビリテーションを

## Voice

## ■介護度の高い利用者様へのCogEvo活用

比較的介護度の高い方が多くいらっしゃるアーチスト様では、ご担当の水野先生が利用者様の居室にタブレットPCを持ち込み、12種類ある中からタスクを選んで取り組んでいらっしゃいます。先生が、利用者様の日々の様子から認知機能のチェックが必要と思われる方や、注意力等が気になると思われる方にチェック、その結果からCogEvoのタスクをトレーニングに使っています。

チェックの結果は認知機能別に評価され、わかりやすくレーダーチャートで認知機能のバランスを把握することができるので、利用者様にすぐにフィードバックできます。それをもってトレーニングにつなげたり、結果を一緒に確認することで、利用者様とのコミュニケーションが増えることも先生は大切にいらっしゃいます。

CogEvoで認知機能トレーニングを実施されている姿をみて、他の利用者様からも「私もやりたい」との声が上がり、リハビリが進むこともあるそうです。

先生から、利用者様の普段の様子やCogEvoを個々に実施されている様子を観察し、CogEvoを使ってその方に合ったリハビリを実践されていると伺いました。

## ■ CogEvoシステムで余裕の時間を！

水野先生がリハビリをされる際、CogEvo導入までは、先生が作成されたプリント、参考資料や書籍から独自プログラムを作成・実施されていたそうですが、CogEvo導入後は12種類のタスクを使ってリハビリやトレーニングをされています。CogEvoを活用することで、プログラムを準備する時間が軽減され、利用者様それぞれのリハビリに集中することができるようになったようです。

更に、結果の経時変化が見られるので、以前と現在の認知機能評価につなげやすいと好評です。認知症短期集中リハビリテーション実施加算の算定には、HDS-R、MMSEの得点を基にされていますが、CogEvoの結果シートも活用することで、以前よりも取り組みやすくなったとの評価をいただきました。

## ■同グループの老健様、デイケア様でも活用

今後は併設のデイケア様でもCogEvoを先ずはチェックを中心に使われる予定です。また、としわ会様の老健「タキガワアリア」様、老健「セントラール」様にもCogEvoが導入、水野先生の取り組まれるメソッドがとしわ会様全体のリハビリテーションに運用されています。

医療法人 としわ会  
北区複合型介護施設

## 法人情報

名古屋市中区で2005年に医療法人としわ会様を設立、2014年8月北区に複合型介護施設・介護老人保健施設としてアーチストが開設されました。他に通所リハビリテーション・ショートステイ専用施設、居宅介護支援事業所が併設されています。

利用者の方々が生きがいを持って自立した生活を送って頂けるよう、一人ひとりに対し施設サービス計画(ケアプラン)を策定し、医学的管理下におけるきめ細やかな看護、介護、リハビリテーションを行っております。

〒462-0825  
名古屋市北区大曾根二丁目8番10号

TEL 052-916-1040(代表)

<https://www.toshiwa-kai.or.jp/care/>



株式会社 トータルブレインケア

<https://cog-evo.jp/>